



まちづくりニュース 第4号

藤沢市健康と文化の森地区土地区画整理準備会

業務代行予定者を選定しました！

藤沢市健康と文化の森地区土地区画整理準備会では、土地利用計画の実現に向けて資金調達や確実な工事施工、計画的な保留地処分、地権者の土地活用が不可欠と考えており、これを実現するため業務代行予定者の募集を行いました。

その後、提出書類の内容及び提案者からのプレゼンテーションによる審査を実施し、企業誘致に関して具体的な提案が行われたことや、確実な資金調達への姿勢、事業完了後もまちづくりへサポートしていただける姿勢に好感が持てるなど、総じて高い評価を得たため、準備会総会での承認を経て、次のとおり業務代行予定者を選定しました。

業務代行予定者 株式会社フジタ

《提案概要》

○土地利用実現に向けた取組方針

暮らす
多世代にわたる人々
多様なライフスタイルに
応える住宅地を供給

働く
産業系の施設を誘致
企業活動が雇用と地域交流
経済効果をもたらします

学ぶ
研究・教育系の施設を誘致、
慶應大学と連携をし、
学びの文化を育みます

○想定する事業スケジュール（概略）



※提案については、業務代行予定者が、募集時に提案した内容に基づくものであり、今後この提案をもとに関係者などが連携して検討を行っていくため、変更する可能性があります。

第7回総会

- 開催日時：令和5年4月16日（日）
- 開催場所：遠藤市民センター 3階ホール
- 承認事項：業務代行予定者の決定と協定書（案）について
規約の変更について



土地利用計画の実現に関する要望書を提出しました

準備会では、令和5年度末の組合設立認可に向け、業務代行予定者に選定した企業と認可申請図書を作成予定です。

そこで、まちづくりにおける土地利用計画の実現に向け、藤沢市に対して要望書の提出を行いました。要望及び回答は次のとおりです。

《藤沢市への要望及び回答（抜粋）》

要望1 いずみ野線延伸計画の現状を教えて欲しい

⇒（回答）約600億円もの建設費を要することや、新型コロナウイルス感染症流行を契機としたテレワークの進展など、新しい生活様式の定着による鉄道利用者の減少が生じているため、鉄道建設費の低減策とあわせてさらなる需要喚起が必要となっております。

要望書提出時の写真



（左から宮治副市長、鈴木市長、青木(浩一)会長、普川副会長、青木(幸男)副会長、飯島副会長）

要望2 いずみ野線延伸計画の早期実現に向けた取組を実施して欲しい

⇒（回答）鉄道延伸の課題解決に向けては、県市で役割分担を行い、県では鉄道建設費の低減策、市ではさらなる需要喚起による運賃収入の確保について検討を行っております。引き続き、県と市で足並みをそろえて、早期実現に向けて取り組んでまいります。

要望3 本地区への市の施設の誘導を検討して欲しい

⇒（回答）文化を伝えるコンテンツの創出など、西北部一帯の活性化に資する取組を地域の皆さんと検討していきたいと考えておりますので、市の施設の誘導も含め、検討してまいります。

要望4 慶應義塾大学だけでなく市としても企業誘致活動を実施して欲しい

⇒（回答）慶應義塾大学 SFC の立地や特区制度等の活用を見据えた中で、企業・研究所等を誘致し、研究開発機能の集積を図っていきたくと考えています。そのため、市としても、全国の研究施設を有する企業（約4,000社）に対し、本地区への進出意向に関するアンケートの実施や神奈川県企業立地ガイドに本地区に関する情報を掲載する準備を進めるなど、企業、研究施設等の誘致実現に向けて様々な取組を行ってまいります。

要望5 事業計画に沿った助成金の確実な交付をして欲しい

⇒（回答）本事業は、「健康と文化の森地区」という都市拠点の形成に大きく寄与する取組と考えておりますので、事業の進捗に合わせた確実な交付に努めてまいります。

要望6 引き続き会の運営支援をして欲しい

⇒（回答）今後の事務局運営については、主として業務代行予定者が実施していくと考えておりますが、本市も引き続き、サポートしていきたいと考えております。

■ご意見・お問合せは、準備会事務局までお願いします

藤沢市健康と文化の森地区土地区画整理準備会事務局

連絡先：藤沢市 都市整備部 西北部総合整備事務所（担当：香川、瀧澤、津野田）

電話 ☎ 0466（46）5162